



5つの国から成る兵庫県

兵庫県は歴史や文化の異なる5つの国
〈摂津(神戸・阪神)、播磨、但馬、丹波、淡路〉が
一つの県となった経緯を持つことから、
今でも「五国」と呼ばれ、
それぞれの地域が豊かな個性を持っています。

知られざる地域遺産を再発見 データベース 「兵庫の地域遺産」

兵庫県には幅広い時代・ジャンルの地域遺産があり、「国宝」や「重要文化財」「日本遺産」などの価値付けごとに整理されています。そうした地域遺産を、価値付け・ジャンルを超えてまとめ、地域活性化に活用する際に参照できるようなデータベースを構築しました。お住まいの地域にどんな地域遺産があるか、お目当ての観光スポットの近くにはどんな地域遺産があるか、ぜひこのデータベースで調べてみてください。



ストーリーで知る地域遺産の魅力 地域遺産 ストーリー映像

県では、地域遺産により親しんでもらうために2種類の映像を制作しました。この映像は「ひょうごチャンネル」に掲載しているほか、企業・団体向けに貸し出しもしていますので、ぜひご覧ください。

■「ふるさとひょうご五国物語」
県内地域遺産にまつわるストーリーを、「海」「大地」「人」の3つの視点で切り取って紹介。

■「椰-nagi-」
3人の主人公が県内を巡りながら地域遺産の魅力に触れる様子をドラマ仕立てで紹介。



兵庫の地域遺産

発行／兵庫県地域創生局(地域資源担当) 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 Ⅸ078-362-4217 Ⅸ078-362-3950



HYOGO

知るほどに 面白い!



の

地域



多様性こそが 兵庫の個性!

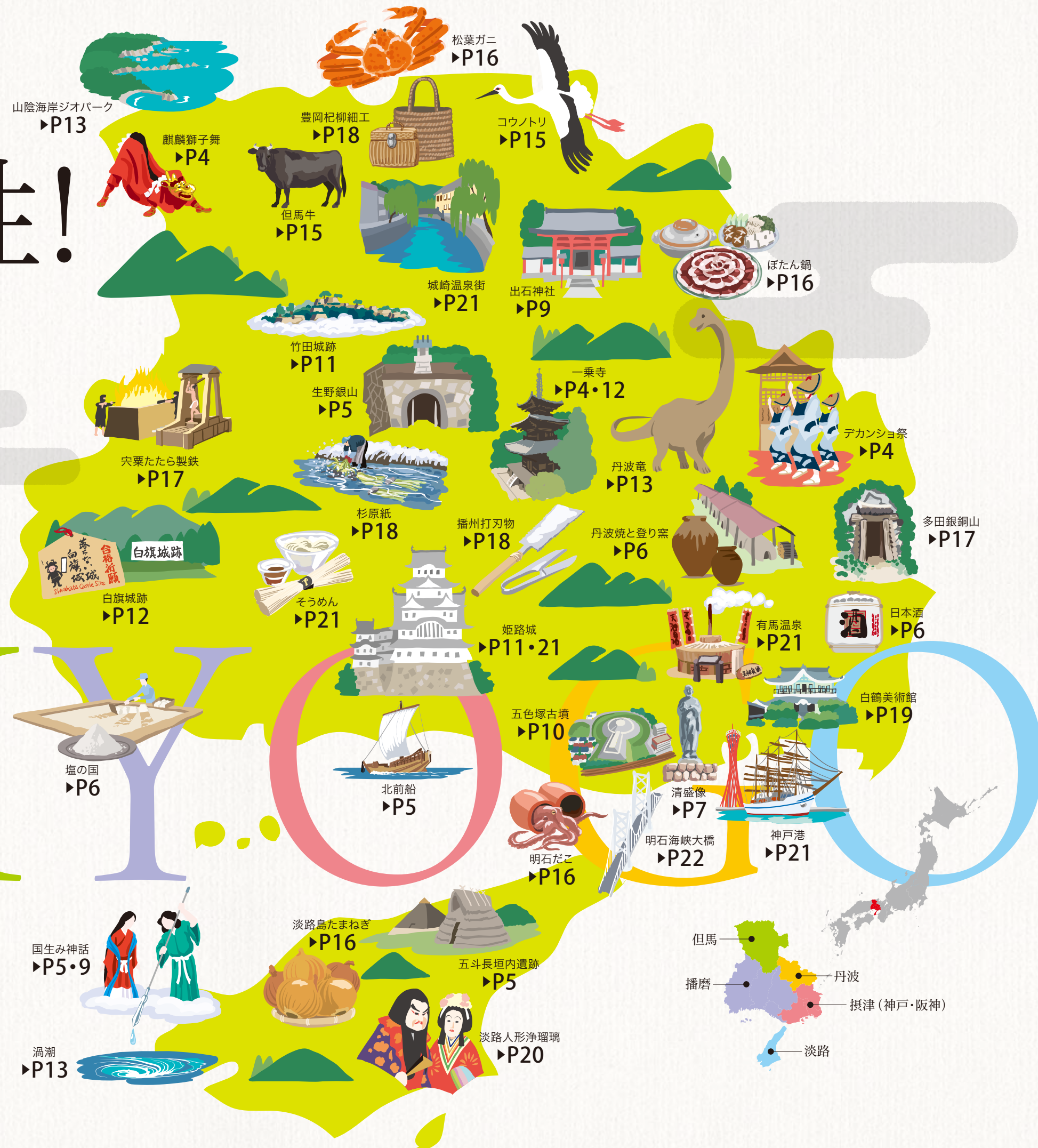
知るほどに面白い、
各地の魅力に迫ろう

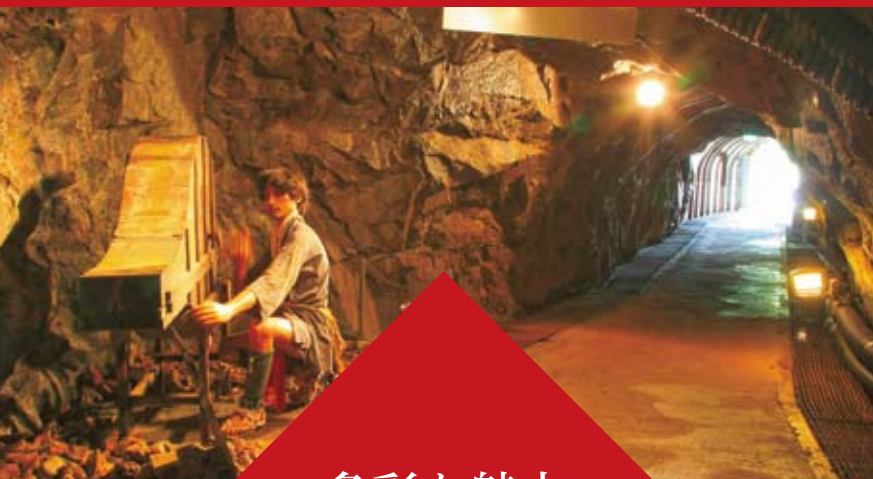
摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の旧五国で構成され、
北は日本海、南は瀬戸内海に面する広大な兵庫県。
歴史をひも解けば、国生み神話に始まる天地創造の物語など、
古代からこの地の重要性や、ヤマト王権との関係を垣間見ることができます。

律令時代の五畿七道のうち山陽道、山陰道、南海道が走る交通の結節点で、
政治・経済の中核である畿内と西国を結ぶ「扇の付け根」に位置。
戦略上の要衝として地の利をめぐって
政権と絡む合戦が繰り返されます。

天然の良港を抱えた、要の地でもありました。
特に中世以降は、瀬戸内海を中心とする
国内物流、海外貿易の拠点として発展。
外国との交流の舞台にもなり、
それが今日の兵庫県の礎を築くことになります。

北部は大量の雪が降る日本海側の気候、
南部は温暖な瀬戸内の気候。
二つの海に面し、全く異なる気候・風土を有する府県は他にありません。
豊かな自然と共生しながら、この気候を生かした食や産業が育まれ、
多様な文化が今に伝わります。





多彩な魅力 ひょうごの日本遺産 ストーリー

日本遺産とは

日本には長い歴史によって生み出された独自の伝統文化や風習が全国各地に存在し、世代を超えて受け継がれています。地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁に認定されたものが「日本遺産」です。そして、そのストーリーを語る上で欠かせないさまざまな文化財群を、保存するだけでなく、地域の魅力として多くの人に知ってもらい、積極的に活用していこうとするものです。

兵庫県は全国最多の9件が日本遺産として認定されています。時代も内容も異なるストーリー、この多様性こそが兵庫の個性です。



【平成27年度認定】

丹波篠山 デカンショ節
—民謡に乗せて歌い継ぐ
ふるさとの記憶—

丹波篠山市

【令和元年度認定】

日本海の風が生んだ絶景と秘境
—幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地
「因幡・但馬」—

香美町、新温泉町 ほか1県5市町

【令和元年度認定】

1300年つづく日本の終活の旅
～西国三十三所観音巡礼～

宝塚市、加東市、加西市、姫路市 ほか2府4県20市町村

【平成28年度認定】

『古事記』の冒頭を飾る
「国生みの島・淡路」
～古代国家を支えた海人の営み～

淡路市、洲本市、南あわじ市

【平成29年度認定】

播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道
～資源大国日本の記憶をたどる
73kmの轍～

姫路市、福崎町、市川町、神河町、朝来市、養父市

【平成30年度・令和元年度認定】

荒波を越えた男たちの
夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

神戸市、高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、
姫路市、たつの市 ほか1道2府12県41市町

【平成29年度認定】

きっと恋する六古窯
—日本生まれ日本育ちの
やきもの産地—

丹波篠山市 ほか4県5市町

【令和元年度認定】

「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

赤穂市

【令和2年度認定】

「伊丹諸白」と「灘の生一本」
下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市

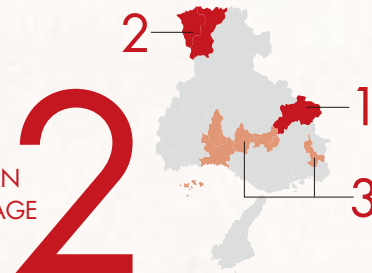
【上】生野鉱山（朝来市）【下】高田屋顕彰館・歴史文化資料館（洲本市）



ひょうごの日本遺産

息づく文化～感謝と祈り～

JAPAN
HERITAGE



JAPAN
HERITAGE

丹波篠山 デカンショ節
—民謡に乗せて歌い継ぐ
ふるさとの記憶—

丹波篠山市

城下町の篠山で200年にわたって育まれ、歌い継がれてきたのが江戸時代の民謡を起源とする「デカンショ節」です。人々の喜怒哀楽やふるさとへの誇りとともに時代ごとの風情や名所、名産品が歌に織り込まれ、その歌詞は今では300番以上に。毎年8月15日、16日に開催されるデカンショ祭では、篠山城跡に高く組まれたやぐらを中心にデカンショ節の生歌・生演奏に合わせ数千人が幾重にも輪を描きながら踊り続けます。



1.あらゆる世代が集い、毎年盛大に催されるデカンショ祭。
2.「灘の酒はどなたがつくる、おらが自慢の丹波杜氏」と歌われました。

JAPAN
HERITAGE

1300年つづく日本の終活の旅
～西国三十三所観音巡礼～

宝塚市、加東市、加西市、姫路市 ほか2府4県20市町村



日本海の風が生んだ絶景と秘境
—幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地
「因幡・但馬」—

香美町、新温泉町 ほか1県5市町

日本海から吹き付ける季節風は、国内最大級の「鳥取砂丘」を誕生させました。荒波に削り出された奇岩、風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背にたたずむ豪邸、岩窟の中に姿を現す古堂、これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境です。

人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、いにしえから幸せを呼ぶと伝わる麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出合う旅人にも幸せを分け与えています。



1.荒波が削り出した切り立った岩や地層がむき出しになり、彫刻作品のような岩石海岸が連なる香住海岸（香美町）。
2.新温泉町浜坂地区一帯で行われる浜坂麒麟獅子舞。



人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるか。自分の人生に向き合ながら、日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが1300年続けられてきた西国三十三所観音巡礼です。日本最古の巡礼の路といわれており、近畿2府4県と岐阜県にある三十三所の総距離は約1000kmに及びます。兵庫県には第24番礼所の中山寺、第25番礼所の播州清水寺、第26番礼所の一乗寺、第27番礼所の圓教寺があります。

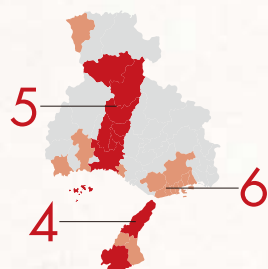
人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるか。自分の人生に向き合ながら、日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが1300年続けられてきた西国三十三所観音巡礼です。日本最古の巡礼の路といわれており、近畿2府4県と岐阜県にある三十三所の総距離は約1000kmに及びます。兵庫県には第24番礼所の中山寺、第25番礼所の播州清水寺、第26番礼所の一乗寺、第27番礼所の圓教寺があります。

1.中山寺（宝塚市）：推古天皇時代に聖徳太子が開基とされます。「安産の寺」として信仰を集め、安産祈願の人々が全国から腹帯を求めて参拝します。
2.播州清水寺（加東市）：627年、推古天皇勅願により法道仙人が開基とされます。壮大な伽藍（がらん）は標高552mに位置し、明石海峡大橋が一望できます。
3.一乗寺（加西市）：650年、孝徳天皇勅願により法道仙人が開基とされます。優美な三重塔（国宝）と山の風景、奈良・平安時代の流麗な仏像も魅力です。
4.圓教寺（姫路市）：966年、性空上人の開基とされます。西の比叡山とも呼ばれ、荘厳なたたずまいから、映画やドラマのロケ地としても有名です。



ひょうごの日本遺産

時代を牽引～軌跡と誇り～



『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～

淡路市、洲本市、南あわじ市

「古事記」の冒頭に書かれた「国生み神話」の中で最初に誕生するのが淡路島です。その背景には、金属器文化をもたらした、塩の生産術に長け、巧みな航海術で畿内の王権や都の暮らしを支えた「海人」と呼ばれる海の民の存在がありました。彼らの足跡は島内各地に点在する遺跡や出土品などに見ることができ、伊弉諾神宮や沼島などが国生み神話の伝承地として残っています。



1. 1世紀から始まる本格的な鉄器生産を今に伝える五斗長垣内（ごっさかいと）遺跡。鍛冶工房の建物跡や多数の鉄器が出土しています（淡路市）。
2. 沼島の「上立神岩」。島に残る古墳や製塩遺跡、立神岩の信仰などに、海の民の拠点であったことが想像されます（南あわじ市）。



1. 北前船の船主や船乗りが航海安全を祈願し、諸寄港を望む為世永（いよなが）神社に奉納した船絵馬（新温泉町）。
2. 北前船など和船で使うために作られた帆布の開発者で、築港の技術者としても多くの業績を残した工業松右衛門の旧宅（高砂市）。

JAPAN
HERITAGE

5

播但貫く、
銀の馬車道 鉱石の道
～資源大国日本の
記憶をたどる73kmの轍～
姫路市、福崎町、市川町、神河町、朝来市、養父市



姫路・飾磨港と生野鉱山を南北に結ぶ全長49[※]の銀の馬車道はかつて、鉱物や資材を届ける馬車が盛んに行き交いました。生野は「佐渡の金、生野の銀」と称された鉱山町で、そこから「銅の神子畑、明延、金の中瀬」といわれた鉱山群をつなぐ24[※]の鉱石の道には、東洋一の規模を誇った神子畑選鉱場跡や、その先の明延鉱山との間に敷かれた明神電車跡などが、近代日本の発展を支えた歴史を伝えています。



1. 特に明治42（1909）年に錫鉱が発見されて以降は「日本一の錫の鉱山」として栄えた明延鉱山跡（養父市）。
2. 明延からの鉱石を選鉱した神子畑選鉱場跡。最盛期には山の斜面を利用して24時間稼働し、不夜城と呼ばれました。（朝来市）。



JAPAN
HERITAGE

6

荒波を越えた男たちの
夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

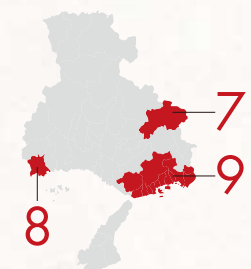
神戸市、高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、姫路市、たつの市
ほか1道2府12県41市町

港に通じる小路が随所に走り、通りに面して、かつての広大な商家や豪壮な船主屋敷がたたずむ港町。社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、今も人々を引き付けてやみません。日本海と瀬戸内海の両方に寄港地があるのも兵庫の特徴の一つです。



ひょうごの日本遺産

重ねる試み～伝統と進化～



JAPAN
HERITAGE

7

きっと恋する六古窯
ー日本生まれ日本育ちの
やきもの産地ー

丹波篠山市 ほか4県5市町

瀬戸、越前、常滑、信楽、備前とともに日本六古窯に数えられる丹波焼。13世紀に開かれたと伝わる産地の丹波篠山市今田町立杭は、今も山麓の緑に抱かれるように約60軒の窯元が南北に連なり、独特の景観を醸しています。窯元の多くが工房近くにギャラリーを構え、「丹波焼 最古の登窯」や兵庫陶芸美術館、「丹波伝統工芸公園 立杭 陶の郷」などと巡る窯元路地歩きは、産地ならではの楽しみ方として人気を集めています。

1. 築窯から120年、現役で使われているものとしては最古の登り窯を当時の築窯方法で修復した「丹波焼 最古の登窯」。
2. 山の斜面を利用して築かれた登り窯で焼き上げられた作品。飾り気のない素朴な味わいが特徴です。



JAPAN
HERITAGE

8

「日本第一」の塩を
産したまち 播州赤穂

赤穂市

江戸時代、システムチックな入浜塩田による塩作りが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ、千種川が中国山地からもたらした良質の砂からできた広大な干潟は入浜塩田の開発に適しており、赤穂の塩は国内きってのブランドとして名をはせ、地域に多彩な恵みをもたらしました。このまちには瀬戸内海から生み出される塩と共に歩んできた歴史文化が蓄積され、現在に息づいています。



1. 2. 製法は時代とともに移り変わりながらも、赤穂の塩の生産量は現在も国内の約2割を占めます。なお、赤穂市立海洋科学館・塩の国では、昔ながらの作業の実演見学や塩作り体験ができます。



JAPAN
HERITAGE

9

「伊丹諸白」と「灘の生一本」
下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市



江戸時代、伊丹・西宮・灘の酒造家たちは優れた技術、良質な米と水、酒輸送専門の樽廻船によって、「下り酒」と称賛された上質な酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築きました。六甲山の風土と人に恵まれたこの地では、水を守り米を育てる人々、祭りに集う人々、酒の香漂う酒造地帯を訪れ蔵開きを楽しむ人々が共にあり、400年の伝統と革新の清酒が造られています。

1. 延宝2（1674）年建築の、現存するわが国最古の酒蔵である旧岡田家住宅。内部に展示された酒造道具等を見学できます（伊丹市）。
2. 最良の酒米「山田錦」とともに、酒造りを支える天与の霊水「宮水」。西宮郷でくみ上げられている伏流水で、天保11（1840）年に発見され、発祥地碑が立っています（西宮市）。



古代から今に続く 歴史の舞台、兵庫津

1 天然の良港

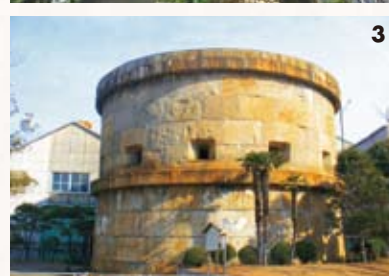
兵庫津は、もとは行基が設けた摂播五泊(摂津国から播磨国にかけての5つの港)の一つ、大輪田泊で知られます。航路となる瀬戸内海にあって、六甲山系により北西の季節風が遮られ、和田岬によって荒い波が防がれ、さらに水深にも恵まれた天然の良港です。「津」は港や港町を意味します。鎌倉時代以降、この地に港町が形成され、「兵庫津」と呼ばれるようになりました。



2 新たな時代を開く平清盛

平安時代、大輪田泊の重要性に着目した平清盛は港を大改修し、ここを窓口とした日宋貿易により貨幣流通と商業活性化を図ります。さらに治承4(1180)年、福原への遷都を断行します。この遷都はわずか170日ほどしか続かなかったものの、清盛はこの地から国の形、経済の形を変えることで新しい時代の扉を開けようとしたのです。

- 1.江戸時代末期の浮世絵。多くの船が行き交い、全国の物資が集散する港湾都市として繁栄する兵庫津の様子が分かります(神戸市立博物館所蔵)。
- 2.清盛塚は高さ8.5mの十三重の供養塔。清盛は、港、首都、経済の機能が集中した壮大な都市計画を、この地に描こうとしました。
- 3.外国艦船に対する沿岸防備のため、江戸時代末期の元治元(1864)年に建設された和田岬砲台は勝海舟による設計です。



3 国際交流の舞台へ

室町時代には足利義満による日明貿易の拠点として、その輝きを増します。この時代、兵庫津は日本国における唯一の貿易指定港で、人・モノ・情報が集まり、外交の舞台となりました。日明貿易により得た莫大な収益は経済や文化振興に大きな影響を与え、交流が続いた10年間は「黄金の10年」ともいえます。



寺社が多いのも兵庫津の特徴です。能福寺の兵庫大仏は、高さ11m、重さ約60tで、奈良、鎌倉と並び「日本三大仏」と称されます。



過去の発掘調査で堀や石垣が発見されています。本丸の中央部分は兵庫運河の開削により失われましたが、運河に臨む位置に城跡を示す石碑が立っています。



時宗の開祖であり踊り念仏を広めた一遍上人は、正応2(1289)年、この地の観音堂(現・真光寺)で遊行の生涯を終えました(写真提供:神戸市)。

1000年を超える歴史を誇り、常に日本の重要地であった港町「兵庫津」。現在の神戸市兵庫区の沿岸部の辺りで、重層的な歴史が眠るこの地は旧五国が統合され誕生した兵庫県のルーツともいえる場所です。

4 大都市への発展

文正2(応仁元・1467)年に始まった応仁の乱の戦火でまちの多くが焼失。時を経て安土桃山時代、戦で功を上げた信長家臣の池田恒興は、この地に兵庫城を築きます。江戸時代には西国街道も通る要衝地として発展し、幕府の直轄地(天領)に。北前船が運搬するさまざまな物資の集散地、朝鮮通信使やオランダ商館長一行の宿泊地でもあり、人口2万人の大都市となります。この時代、高田屋嘉兵衛、工楽松右衛門、北風荘右衛門らが活躍しました。



高田屋嘉兵衛は淡路島で生まれ、兵庫津に出て船乗りとなります。大坂と蝦夷地(北海道)を行き交う北前船の船乗りとして活躍し、箱館(函館)に進出。幕府の要請を受け択捉島と国後島間の安全な航路を発見するなど、北方の開拓者としても功績を残しました。文化8(1811)年に発生したゴローニン事件に巻き込まれ、ロシアのカムチャツカに連行抑留されますが、両国の仲介役となり和解成立へと導きました(北方歴史資料館所蔵)。

5 兵庫の開港

幕末の安政5(1858)年、列強5カ国との間に結ばれた修好通商条約により「兵庫」の開港が決定。しかし、68年に実際に開港されたのは、兵庫津から3.5km東方の「神戸(神戸村)」でした。神戸開港により西の兵庫津は国内産業の拠点として、東の神戸港は国際貿易港として、明治以降、日本の近代化を支えました。

県域の変遷

第一次兵庫県の県域

慶応4(明治元・1868)年、明治政府は兵庫津周辺の幕府領を第一次兵庫県としました。いくつもの飛び地から成り、その後も複雑に変化しました。

- 凡例
- 明治元年5月の県域
 - 明治4年4月の県域
 - 庚午事変により、兵庫県管轄となった地域(明治3年10月~4年11月)
 - 国界
 - 現在の県界

第二次兵庫県の県域

明治4(1871)年の廃藩置県により、現在の兵庫県の県域には30を超える郡が誕生し、兵庫(第二次)、飾磨、豊岡、名東の4県になりました。

- 凡例
- 兵庫県
 - 豊岡県
 - 飾磨県
 - 名東県
 - 県庁所在地
 - 現在の県界
 - 明治4年11月改編の県界

兵庫県誕生秘話

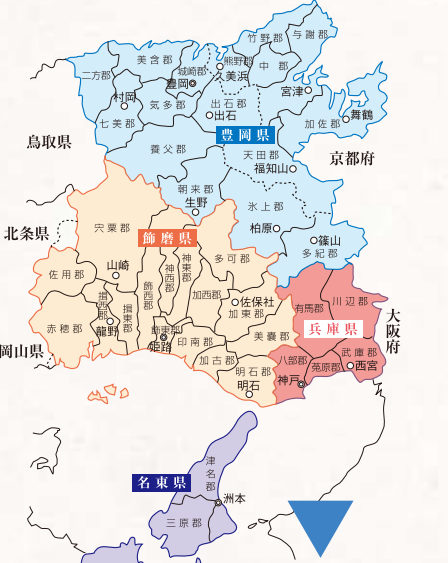
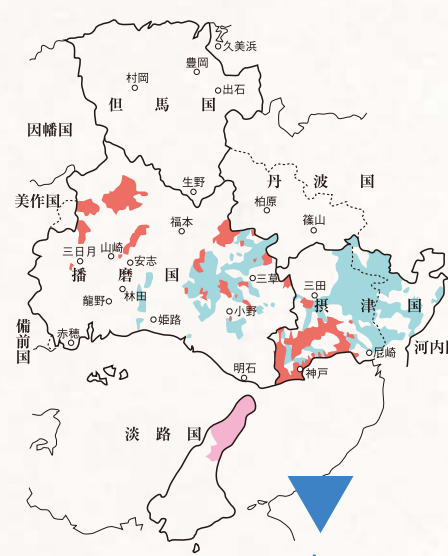
兵庫県と大久保利通

大久保利通から意見を求められた但馬出身の櫻井勉(内務省の局長などを歴任)は、「豊岡県は飾磨県と統合するのが良い」と述べました。しかし、大久保から、「開港場である兵庫県の力を充実させるように考え直せ」と指示され、櫻井は第三次兵庫県の原案を考え出しました。

第三次兵庫県の県域

明治9(1876)年に飾磨県と豊岡・名東両県の一部が加わり、ほぼ現在の県域になりました。

- 凡例
- 明治9年8月府県統合による県界
 - 郡・区界
 - 県庁および神戸区役所(明治12年設置)
 - 郡役所の位置(明治12年設置)

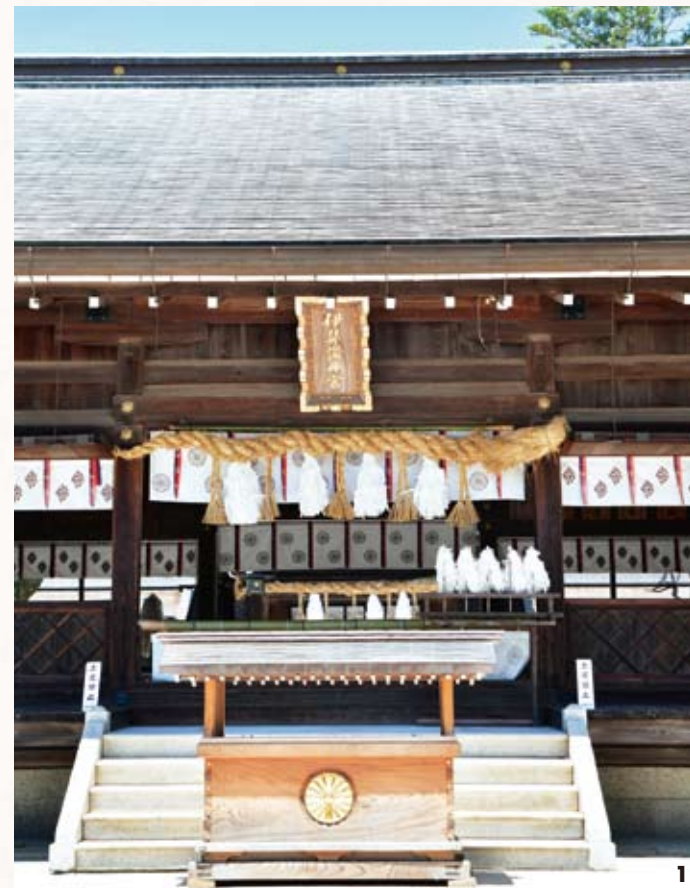


兵庫津ミュージアム(仮称)の整備

右は兵庫勤番所の図絵(県政資料館所蔵)。兵庫城跡に建てられた幕府の大坂町奉行所の「兵庫勤番所」が、明治に入り初代兵庫県庁舎となりました。県誕生から150年を経た今、この地では初代県庁舎の復元と、歴史展示機能を備えた「兵庫津ミュージアム(仮称)」の整備が進められており、令和3年度から4年度にかけて、段階的に開館予定です。

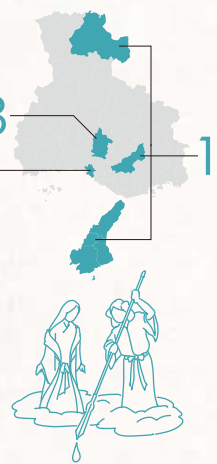


いにしえの神話と古墳が語る 古代の兵庫



MYTHS & LEGENDS

1 神話と伝説



国生み神話

現存する国内最古の歴史書「古事記」にある神話の世界は、天地が形づくられ国家が誕生する過程を、幾多の神々の姿になぞらえて描いた壮大な天地創造の物語です。その冒頭を飾るのが「国生み神話」。イザナギ、イザナミの二神が、生まれたばかりの混沌とした大地を天沼矛でかき回すと、矛先から滴り落ちた塩の雫が凝り固まって「おのころ島」に。そこで夫婦となり、日本列島の島々を生んでいく。その中で最初に生まれた特別な島が、淡路島です。

1.伊弉諾尊(イザナギ)と伊弉冉尊(イザナミ)の二神を祭る伊弉諾神宮(淡路市)。

2.おのころ島神社の絵馬には、国生みの姿が描かれています(南あわじ市)。



アメノヒボコ伝説

「古事記」や「日本書紀」に登場するアメノヒボコは、朝鮮半島の新羅の王子で、出石に住み着いたとされます。出石神社由来記によると、かつて、円山川の河口は土砂が堆積し、一帯が泥海で大水の被害に苦しめられていたところ、アメノヒボコが瀬戸の岩戸を切り開いて日本海に排水し、肥沃な但馬平野をつくったとされます。豊岡市の出石神社には、治水工事を行い但馬繁栄の基礎を築いたアメノヒボコが祭神として祭られ、土木関係者の信仰を集めています。



1.出石神社(豊岡市)
2.瀬戸岩引きの絵(出石神社蔵)。

根日女と二人の皇子の物語

皇位争いで父を殺された二人の兄弟皇子が、播磨国で身分を隠し暮らしていました。その時に出会ったのが美しい根日女です。皇子たちは彼女に恋をしますが、仲の良かった二人は譲り合います。やがて二皇子は都に帰り、ここでも皇位を譲り合い、弟、兄の順で帝となりますが、二人を心配する根日女は病で亡くなります。皇子たちは嘆き悲しみ、根日女のために古墳を築き手厚く葬りました。権力闘争が激しかった時代に、安らぎを感じさせる物語が「播磨国風土記」などに残されています。



1.二人の皇子が隠れ住んだと伝わる志染の石室。中の湧き水は光藻の作用で水が金色に光ることから、「窟屋(いわや)の金水」と呼ばれます(三木市)。
2.二人の皇子が根日女のために表面を玉石で覆ったとされる玉丘古墳(加西市)。

播磨国風土記が現存し、古事記や日本書紀にも多数登場するこの地には、壮大な世界観の神話や全国最多の古墳が残ります。古代日本の権力の中枢であるヤマト王権との関係、この地の豊さや重要性を物語っています。

MYTHS & LEGENDS

2 全国最多 兵庫の古墳



兵庫県の古墳の数は全国最多(1万8851基)で、2位の鳥取県(1万3486基)を大きく上回り、全国の約12%を占めます[平成28年度文化庁調べ]。奈良を中心に勢力を拡大するヤマト王権に深く関わる有力な豪族が多く住んでいたからと考えられます。また、特に但馬のほか、播磨や摂津地方に古墳が密集するのは、高度な土木技術を持った渡来人や、海を支配する海人系民族の影響と考えられます。兵庫県は銅鐸の出土数が全国で最も多い県としても知られています。



MYTHS & LEGENDS

3 播磨の石の文化

1億年前、マグマが上昇し、大規模な火砕流が発生。それが堆積し凝灰岩となって播磨を覆いました。その時の凝灰岩が播磨に石の文化を築きます。この地で採れる「竜山石」は、特に古墳時代には、世界遺産でもある日本最大の前方後円墳「仁徳天皇陵古墳(大山古墳)」をはじめ畿内の大王墓クラスの石棺にも使用されました。また、中世では加古川流域を中心に石棺仏として再利用されています。



1.五色塚古墳は県内最大(194m)の前方後円墳で、4世紀~5世紀初頭に築造。海上から見ても威容を誇っています(神戸市)。
2.茶すり山古墳は直径約90m、高さ約18mで、円墳としては近畿地方最大規模を誇ります(朝来市)。
3.松帆銅鐸は平成27(2015)年に7点発見され、埋納時期は最古と考えられます。内部につり下げて音を鳴らす「舌(ぜつ)」や銅鐸をつり下げるひもとと一緒に発見されたこと、大きい銅鐸に小さい銅鐸が収まった「入れ子」状態だったことなど、大発見がいくつもあります(南あわじ市)。



竜山石採石場(高砂市)

石の宝殿

高砂市の生石(おうしこ)神社に祭られる横約6.5m、高さ約5.6m、奥行約7.5m、重さ約500tの巨大な石造物は「石の宝殿」と呼ばれ、竜山石でできています。まるで宙に浮かんでいるかのように見える不思議な石で、日本三奇の一つに数えられ、パワースポットとしても人気を集めています。圧倒的な量感、人為とは思えぬ偉業だけに、さまざまな神話や伝承、学説を生みました。

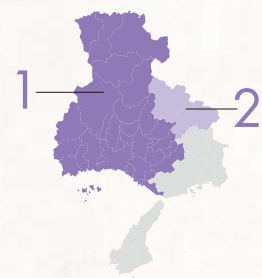


五百羅漢

古くから、「親が見たけりゃ北条の西の五百羅漢の堂に御座れ」とうたわれ、459体の表情豊かな石仏の中に、必ず親や子に似た顔があるとわれています。17世紀前半に、近接する酒見寺再興に伴う整備や信仰・供養のため造立されたと考えられており、石仏には地元の高室石(竜山石と同じ凝灰岩)が使われています(加西市)。



時代を超えて歴史を伝える 兵庫の名城、国宝建築



1.竹田城跡(朝来市) 2.御着城跡(姫路市) 3.三木城跡(三木市)

CASTLES & NATIONAL TREASURES

1 黒田官兵衛・豊臣秀吉 ゆかりの名城

軍師として豊臣秀吉の天下取りを支えたのが、姫路に生まれた黒田官兵衛。織田信長から中国攻めの総大将に任命された秀吉にとって、但馬・播磨の諸将を抑えることが重要な鍵でした。天正5(1577)年10月、秀吉は播磨へ向け出陣。三木城は2年近い籠城の末に陥落。三木城と並び、播磨三大城の御着城、英賀城も相次いで陥落します。その後但馬へ攻め入ると、出石城、豊岡城、竹田城、八木城に信任が厚い家臣を配置しました。これらの地には現在も、城跡とともに城下町の風情が残っています。



CASTLES & NATIONAL TREASURES

2 明智光秀 ゆかりの名城

秀吉と同じく織田信長の重臣の一人で「本能寺の変」を起こしたことで有名な明智光秀は、天正3(1575)年から丹波平定に着手します。「丹波の赤鬼」として名を挙げた赤井(荻野)直正の居城である黒井城、多紀郡一円を支配した波多野氏の居城である八上城は、長期にわたる攻防戦の末に陥落しました。



黒井城跡(丹波市)

CASTLES & NATIONAL TREASURES

3 日本100名城・続日本100名城

このほか、世界文化遺産・国宝の姫路城をはじめ、竹田城、篠山城、明石城、赤穂城、出石城・有子山城、黒井城、洲本城の8城が日本城郭協会による「日本100名城」「続日本100名城」に選出されており、全国のお城ファンを魅了しています。

1. 姫路城(姫路市)
2. 明石城跡(明石市)
3. 洲本城跡(洲本市)
4. 赤穂城跡(赤穂市)



兵庫は主要な街道の結節点で、政治・経済の中核である畿内と西国を結ぶ地でした。地の利をめぐって政権と絡む合戦が繰り返された戦略上の要衝で、1000を超える城跡が残り、国指定史跡は22と全国最多です。また、県内に残る6つの国宝建造物からも奥深い歴史を感じることができます。

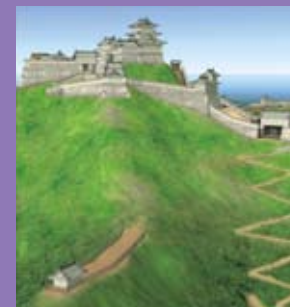
受験生に人気!? 落ちない城「白旗城」

室町幕府の誕生に貢献した武将、赤松円心が築城した白旗城(上郡町)は、南北朝時代に約6万もの軍勢をわずか2000の兵で約50日間も防ぎ止めたことから「難攻不落の城」と呼ばれています。地元では、国指定史跡でもあるこの城を縁起の良いスポットとしてPRを展開。合格祈願の絵馬や記念切手で受験生を応援しています。



幻の天守をCGで復元した「利神城」

貞和5(1349)年に白旗城の北の防備として築城されたのが始まりとされる利神城(佐用町)は、山上の三層の楼閣があたかも雲を突くがごとき威容から「雲突城(くもつきじょう)」とも呼ばれる国指定史跡です。利神山をはじめ山城の多い西播磨地域では、当時の姿を3DCGで再現する試みが進められています。

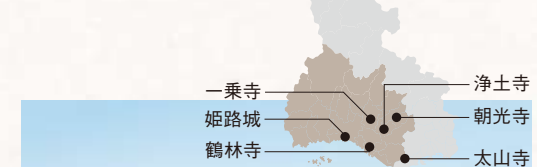


浄土寺(小野市):浄土堂(阿弥陀(あみだ)堂)は東大寺南大門と同じ鎌倉時代の大仏様建築の傑作です。堂内には快慶作の国宝、阿弥陀三尊立像が祭られています。

CASTLES & NATIONAL TREASURES

4 兵庫の国宝建造物

人々の心のよりどころとなっている寺院。県内6つの国宝建造物のうち5つが現在の播磨地域にあります。異なる建築様式の国宝がこのように集中して存在することは大変珍しく、それぞれ独特の風格を漂わせています。



一乗寺(加西市):三重塔は平安時代の承安元(1171)年に建立された県内最古の塔で、全国でも6番目の古さです。



鶴林寺(加古川市):本堂は応永4(1397)年の建立で、寺の中心的な建物です。太子堂は平安時代の建立で、屋根は檜皮(ひわだ)ぶきと呼ばれ、ヒノキの皮を重ねて造られています。

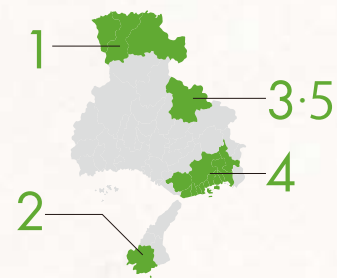


太山寺(神戸市):本堂は13世紀末ごろ、鎌倉時代建立の大規模な木造建築です。内部は奥が仏の空間、手前が礼拝の空間に分けられています。



朝光寺(加東市):本堂は応永20(1413)年にいったん建物ができ、その後正長元(1428)年に屋根がぶき終わり、完成しました。中には千手観音像が祭られています。

地球の営み、自然の奇跡



AMAZING NATURE 1 ユネスコ世界ジオパーク 山陰海岸ジオパーク

但馬地域の沿岸部を含む京都府から鳥取県まで東西120kmに及ぶ山陰海岸ジオパークでは、日本列島がアジア大陸と陸続きだった約2500万年前から今に至るまでの多様な地形や地質を目にすることができます。この大地の営みを一つの遺産として学び、楽しむのがジオパークです。平成22(2010)年10月、「世界ジオパークネットワーク」への加盟が認定されました。



1. 160万年前の火山活動によって形成された玄武洞。大正15(1926)年の調査で、第四紀(約260万年前～現在)における地球磁場の逆転の発見につながった国際的にも重要な場所です(豊岡市)。
2. 2本の岩柱の間に丸い岩が挟まった「はさかり岩」。ジオカヌーで近くから眺めることができます(豊岡市)。



AMAZING NATURE 2 類まれな自然現象 鳴門海峡の渦潮

南あわじ市と徳島県鳴門市との間、播磨灘と紀伊水道がぶつかる鳴門海峡で発生する渦潮は、潮の満ち引きによって生じる極めて速い潮流と、鳴門海峡が持つ特殊な地形が組み合わさることで発生する類いまれな自然現象です。国内外で見られる渦潮の中でも規模、多様性、美しさ等は卓越しており、徳島県と共同で世界遺産登録を目指して取り組んでいます。



1. 2. 世界最大級の渦で、直径約30mにも達する巨大な渦潮が発生させます。観潮船からダイナミックな潮の動きを間近に体感できます(南あわじ市)。

AMAZING NATURE 3 国内最大級の恐竜化石 丹波竜

平成18(2006)年、地元の地学愛好家が丹波市内の「篠山層群」の地層(約1億1000万～1億年前)で発見した恐竜化石は、26(2014)年に日本で5番目となる新属・新種の恐竜と認定されました。推測される全長は十数メートルで国内最大級とされます。このほか、31(2019)年の調査で世界最小となる恐竜の卵の化石が発見されるなど、篠山層群は恐竜やほ乳類などの多様な化石が発見される、世界でも希少な地層といえます。



1. 丹波竜化石工房「ちーたんの館」では、丹波竜の化石や全身骨格のレプリカを展示(丹波市)。
2. 化石発掘調査の様子(丹波市)。



時に力強く、時に神秘的な姿を見せる地球の営みと、自然が織り成す奇跡の光景。そこに一歩踏み出せば、地球のダイナミズムと息吹を感じられます。



1. 海、街、山が近い魅力を生かしながら、六甲山は避暑地や観光地として多くの人々に親しまれています(神戸市)。
2. 江戸時代には燃料のまきにするための乱伐で樹木がなくなり荒れましたが、植林により現在の姿に復活。

AMAZING NATURE 4 大都市とつながる 六甲山

神戸市から芦屋市、西宮市、宝塚市にまたがる六甲山地。最高峰は標高931mの六甲山で、これほど高い山地が海と大都市に近接している例はまれです。大陸や海底のプレートの動きによる東西圧力で断層が上下左右にずれる断層運動が約100万年前から始まり、山側は隆起を繰り返し、逆に大阪湾は沈下しました(六甲変動)。大型船が入港できる深い海と北風を遮る山地により神戸の天然の良港が生まれ、山麓から流れ出る土砂が街の土台をつくりました。



県の花

「県の花」は、日本地質学会が選定した、各都道府県を代表する岩石・鉱物・化石です。兵庫県の花は、アルカリ玄武岩(岩石)、黄銅鉱(鉱物)、化石(丹波竜)です。



1. 玄武岩は火山岩の一種で、日本語名は玄武洞に由来します。
2. 黄銅鉱は銅を取り出す鉱物で、県内にはかつて多くの鉱山がありました。
3. 丹波竜の学名「タンパティタニス・アミキティアエ」は「丹波の女巨人・友情」を意味。

AMAZING NATURE 5 生命が行き交う地 氷上回廊

本州の川の流れを日本海側と太平洋側(瀬戸内海側)に分ける中央分水界。1000m～3000m級の険しい山々が背骨のように連なる日本列島で、標高約95mの日本一低い中央分水界が、丹波市氷上町石生の「水分れ」です。山々に挟まれた低地で容易に南北を往来することから、生き物の分布や分化に大きな影響を与えました。多彩な生命が出会い、行き交う場。そんな様子から、この一帯は「氷上回廊」と名付けられました。



1. 水分れで水は二手に分かれ、北は由良川から日本海へ、南は加古川から瀬戸内海へ注ぎます(丹波市)。
2. 氷上回廊は、豊富な水と独特の地形の中で南北の生き物たちが頻りに行き交い、人々の豊かな暮らしや文化も育まれてきました(丹波市)。

人と自然の共生

人も自然の一部として、自然と共に生きる。そこには、長い年月をかけ守り育てた地域の資源を生かしながら、共に暮らす知恵と取り組みがあります。



COEXISTING WITH NATURE

野生復帰した コウノトリ

かつて日本各地に生息していた野生コウノトリは、保護活動が行われたものの昭和46(1971)年、但馬地域を最後に日本の空から姿を消しました。それでも諦めることなく、旧ソ連時代のハバロフスクから若い個体を譲り受け、豊岡市内で人工繁殖に成功。年々飼育数を増やし、ついに平成17(2005)年には自然界に初放鳥しました。人と野生復帰したコウノトリが共生するためには、自然の回復・再生が重要です。今では野生で生息する個体は200羽を超えています。

- 1.野生復帰プロジェクトの拠点施設、県立コウノトリの郷公園(豊岡市)。
- 2.豊岡市などでは優雅に大空を舞うコウノトリの姿を見ることができます。

COEXISTING WITH NATURE

3 北摂地域の里山

美しい景観、人や生き物が調和した多様性により「日本一の里山」とも称されるのが、県南東部に位置する北摂地域の川西市黒川地区。菊炭と呼ばれる、かつて千利休も愛用した茶道用高級炭の生産が今なお続けられ、8年~10年周期で原料のクヌギを輪伐しています。まき炭林としての利用が続く台場クヌギの里山では、良好な生態系が保たれています。日本の原風景といわれる里地里山は、長い時間をかけて人々が自然と寄り添いながらつくり上げてきた自然環境です。



- 1.伐採年の異なる林がパッチワーク状に広がる里山(写真提供:県立人と自然の博物館)。
- 2.断面が菊の花に似ていることからその名が付いた菊炭(川西市)。

COEXISTING WITH NATURE

2 黒毛和牛のルーツ 但馬牛

但馬牛は、神戸牛や松阪牛などの素牛として知られる和牛で、「黒毛和種牛」の血統の一つ。全国の黒毛和種の母牛の99.9%に血統が受け継がれています。古くから但馬の美方郡は高品質の但馬牛の生産地で知られ、全国に先駆けて「牛籍簿」(牛の戸籍簿)を整備し、郡内産にこだわった改良を行うことで、独自の遺伝資源が保全されてきました。但馬牛の飼養は、地域の草原や棚田の維持、農村文化の継承にも貢献しています。



- 1.「兵庫美方地域の但馬牛システム」は日本農業遺産に認定されており、現在、世界農業遺産の認定を目指しています(香美町、新温泉町)。
- 2.明治後期から大正にかけて作成された牛籍簿(たじま農業協同組合畜産課蔵)。

COEXISTING WITH NATURE

4 東播磨のため池群

兵庫県は国内最多の約2万4000カ所のため池があり、全国の15%を占めています。中でも集中しているのが、東播磨地域の稲美町。降水量が少なく、冬は温暖で乾燥しやすい瀬戸内式気候であることに加え、地形的にも水に恵まれなかったため、農業用水に古くからため池が活用されてきました。最も盛んに造られたのは江戸時代ですが、県内最古は675年に造られたと伝わる天満大池(稲美町)で、1300年以上にわたり稲作と人々の生活を支えてきました。



多様な生物が生息するため池は、貴重な文化的景観でもあります(稲美町)。

豊かな自然が育む 兵庫の食

日本海と瀬戸内海の二つの異なる海に挟まれ、広大な大地が広がる兵庫。春夏秋冬、厳しくも豊かな自然がもたらす大いなる恩恵の一つが「食」です。



- 1.但馬では、ズワイガニの雄を「松葉ガニ」とも呼んでいます。
- 2.兵庫県は、全国有数のホタルイカ漁獲量を誇ります。

LOCAL SPECIALTIES

1 日本海と瀬戸内海、 二つの海の恵み

日本海の最大の特徴は、暖流「対馬海流」が流れる上層部と、栄養に富み低温できれいな日本海固有水が横たわる海底部の二層構造になっていることです。外洋との通路となる対馬海峡が著しく浅いため、外洋の深層水が流入しないのです。結果、寒海性と暖海性の両方の魚介類に恵まれ、上層部ではブリなどの回遊魚、水深200mより深い中層・深海域ではズワイガニ、ベニズワイガニ、ハタハタ、ホタルイカなどが取れます。

瀬戸内海

明石海峡で取れるタコやタイなどの魚介類がおいしい理由は、激しい潮流と豊富な餌にあります。潮流により栄養豊富な海水が絶えず循環しているため餌となるプランクトンが多く、また速い潮流にもまれることで身が引き締まり、しっかりと育つのです。また、河川を通じて山々からの栄養が流れ込む播磨灘で養殖されるカキは、1年間で出荷できるサイズにまで育つことから「1年カキ」と呼ばれます。豊かな海と清流が多くの特産品を生み出しています。



- 3.明石だこはプランクトンを餌とするカニやエビを食べて成長します。
- 4.カキは赤穂市や相生市、たつの市などが産地です。



LOCAL SPECIALTIES

2 御食国「淡路」

御食国とは、日本古代から平安時代まで皇室・朝廷に海水産物を中心とした食材を貢いだ国のことで、若狭や志摩と並び、淡路もまた数々の食材を納めてきました。仁徳天皇の頃には毎日飲む水までもが、淡路島から朝廷に運ばれたという記録も「古事記」に残っています。海に囲まれた年中温暖な気候が豊かな食材を育み、タマネギやイカナゴ、鱧、由良の赤ウニ、淡路島3年とらふぐ、淡路ビーフなど特産品は数多く、島の素材を使ったプロジェクトも続々と進行中です。



- 1.淡路島たまねぎ 2.鱧 3.淡路ビーフ 4.淡路島3年とらふぐ

LOCAL SPECIALTIES

3 丹波ブランド名産品

丹波地域は盆地が多く、昼夜の気温差が大きい独特の気候・風土が特色です。土壌も肥沃で農業に適し、丹波黒大豆、丹波栗、丹波しいたけ、丹波茶、丹波大納言小豆など、全国に誇る多くの特産品が生まれました。また、イノシシを使った冬の味覚「ばたん鍋」は丹波篠山市が発祥。豊富な木の実などを食べ、岩山や起伏に富んだ険しい地形を走り回することで、良質な肉のノイシシが育つといわれています。奥深い谷を覆う幻想的な風景「丹波霧」も有名です。



- 1.丹波黒大豆 2.ばたん鍋

歴史に刻まれた産業の足跡

全国各地に影響を与え、当時の最先端の地として名をはせた産業の遺産。
かつての営みを今に伝える歴史の足跡をたどれば、そこに新たな風を感じられます。

INDUSTRIAL
HERITAGES

1 宍粟たたら製鉄

宍粟市や佐用町など西播磨地域では、良質な砂鉄と木炭の材料となる豊かな森林に恵まれ、古代から「たたら」による鉄づくりが盛んでした。千草鉄(宍粟鉄)と呼ばれ、揖保川や吉井川の水運で備前長船(岡山県)など瀬戸内沿岸や畿内へ流通し、中世では播磨で勢力を誇った赤松氏の経済基盤と武力を支えました。たたらかなやこのかみの神様「金屋子神」が天から舞い降りたという伝説が残る宍粟市には、砂鉄を集める鉄穴流し設備や製錬炉、木炭をつくる炭小屋、鉄製品をつくる鍛冶場など、たたら場の施設全てがそろう遺跡が残っています。



1.天児屋鉄山遺跡(てんごやてつざん いせき)は、現在「天児屋たたら公園」として整備されており、園内にある資料館には遺跡の復元模型も展示(宍粟市)。
2.地元中学校のたたら製鉄体験学習(宍粟市)。



INDUSTRIAL
HERITAGES

2 多田銀銅山

平成27(2015)年には国史跡にも指定された多田銀銅山の青木間歩(猪名川町)。

平安時代末期に採掘が開始され、昭和48(1973)年の閉山までの間、採掘場所や規模、主体者を変えながらも、ほぼ継続的に銀・銅の採掘が行われました。江戸時代には銀の大鉱脈の発見を契機に代官所が設置され、幕府の直接支配下に置かれるなど、重要な鉱山でした。大坂などの都市に近接する鉱山として最先端の製錬技術が採用され、その技術は生野銀山にも伝えられました。この銀銅山には豊臣秀吉の埋蔵金伝説が残り、歴史とロマンを感じさせてくれます。



INDUSTRIAL
HERITAGES

3 但馬の養蚕文化

養父市大屋町には養蚕を行うための木造3階建ての特色ある家屋が残り、大正・昭和期の昔ながらの農村景観が広がります。但馬は江戸期に「東の群馬、西の但馬」と称された養蚕の本場。養父市出身の上垣守国が享和2(1802)年に著した指南書「養蚕秘録」は、シーボルトによってオランダに持ち帰られた後、フランス語やイタリア語にも翻訳され、日本式の養蚕技術が欧州で貢献しました。時を経て、今度はフランス人技師が来日し、欧州の技術を導入して建設されたのが官営富岡製糸場(群馬県:世界遺産)であり、不思議な糸でつながっています。



1.養蚕住宅が残る養父市大屋町大杉地区の町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています(養父市)。
2.諸国を歩いて技術を学んだ上垣が庶民のために分かりやすく指南した「養蚕秘録」。

2

受け継がれ進化する技術・伝統産業

人から人へ、手から手へ。少しずつ形を変えながら、途切れることなく技術を次世代につなぐ。
兵庫には、時代と環境に応じて進化を続ける伝統産業があります。

TRADITIONAL
CRAFTS &
INDUSTRIES

1 手すき和紙「杉原紙」



播磨地域の多可町で今も昔ながらの技法で作られている手すき和紙「杉原紙」。平安時代、すでにこの地で紙がすかれていたことが分かっています。鎌倉時代には幕府の公用紙にも用いられ、室町時代中期以降はさらに需要が増え続け、江戸時代に最盛期を迎えます。大正時代一度途絶えましたが、人々の努力により昭和45(1970)年に生産技法が再現されました。最大の特徴は色の白さで、その白さを出すために、冬の川さらし作業を欠かさずに行っています。



1.1月から3月にかけて、杉原川の冷たい清流に和紙の原料「楮(こうぞ)」を浸して打ち付ける「川さらし」を行います。
2.地元の小学校では、児童自身がすいた杉原紙の卒業証書が手渡されています(多可町)。

TRADITIONAL
CRAFTS &
INDUSTRIES

2 豊岡杞柳細工と豊岡鞆

柳行李に代表される杞柳細工は、豊岡市を流れる円山川のほとりに自生していたコリヤナギを原料として始まりました。奈良時代の「但馬国産柳箱」が今も東大寺の正倉院に残されています。江戸時代に入り、豊岡藩の専売制によって全国に知られるようになり、近年では皇室でも使用された「ナルちゃんバッグ」が有名です。明治時代に入ると生活様式が変化し、柳行李で培われた技術と流通経路を生かして豊岡で鞆産業が発展していきました。



1.豊岡杞柳細工
2.平成18(2006)年には商標登録し「豊岡鞆」の地域ブランド化を図るなどの取り組みが進められています(豊岡市)。



TRADITIONAL
CRAFTS &
INDUSTRIES

3 淡路島の線香



江戸末期の嘉永3(1850)年、港町・江井浦(淡路市)の田中辰造が大阪の堺から職人を招き、線香の製法技術を広めました。そして、季節風が強く港が閉ざされる冬場の生活を支える産業として根付きます。降雨量が少なく、乾燥しているという線香作りに適した気候条件、原料や製品の輸送に便利な港などを背景に発展。「日本書紀」には「595年に淡路島に香木が漂着し、その木を燃やすと良い香りが広がったので、朝廷に献上された」と記されており、不思議なつながりを感じさせます。



今では淡路島で製造される線香は国内生産量の70%を占めています。

TRADITIONAL
CRAFTS &
INDUSTRIES

4 播州の伝統産業

播州(播磨地域)には、他地域から取り入れた技術を根付かせ、独自の進化を遂げてきた多くの伝統産業があります。近年では海外にも輸出するなど、伝統を生かしつつ、新たな挑戦が続いています。



1.播州そろばん(小野市):天正8(1580)年に羽柴(豊臣)秀吉が三木城を攻略した際に、近江方面に逃れた住民が天津そろばんの製法を持ち帰ったとされます。
2.播州打刃物[三木金物](三木市):羽柴(豊臣)秀吉が三木城攻略で荒廃した城下の復興を急がせるために、全国から大工や鍛冶職人を集めたことが発展のきっかけです。
3.播州織(西脇市等):寛政4(1792)年に宮大工の飛田安兵衛が京都西陣織の技術を持ち帰ったことが始まりとされます。
4.播州釣針(西脇市、加東市):江戸時代末期、農家の副業として庄屋の小寺彦兵衛が土佐から技術を持ち帰りました。海には面していませんが、釣針技術は根付きました。

阪神間モダニズムを映す近代の名建築

明治末期から昭和初期にかけて、阪神間では鉄道沿線の郊外開発が進むとともに、新たなライフスタイルが生まれ、和と洋が巧みに調和した阪神間モダニズムと呼ばれる文化が花開きました。この時代を象徴する建築物は、その洗練された豊かな文化を映し出しています。



1 ARCHITECTURES ヨドコウ迎賓館

「空間の魔術師」といわれた米国人建築家のフランク・ロイド・ライトは、生涯で800を超える建築物を手掛けました。芦屋川沿いの南斜面、周囲の自然に溶け込むように階段状に立つヨドコウ迎賓館も、もとは灘の酒造家の別邸として大正7(1918)年に彼が設計したものです。現在は(株)淀川製鋼所(ヨドコウ)の所有となり、一般に公開されています。

2 ARCHITECTURES 甲子園会館

ライトの弟子、遠藤新の設計として有名な甲子園ホテルは、「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテル」と称されました。昭和5(1930)年に竣工し、その後、海軍病院、米軍の将校宿舎への転用を経て武庫川学院が譲り受け、甲子園会館という名称に。現在は武庫川女子大学のキャンパスとして活用されています(見学は庭園・建物ともに手続きが必要)。



3 ARCHITECTURES 時代を象徴する建築物

阪神間モダニズムを象徴する建築物はほかにも、米国人建築家のウィリアム・メレル・ヴォーリズが手掛けたヴォーリズ六甲山荘や関西学院大学といったヴォーリズ建築や、カトリック夙川教会、今津六角堂、白鶴美術館、旧乾邸など数多く残っています。



1. 関西学院大学(西宮市)
2. 今津六角堂(西宮市)
3. 旧乾邸(神戸市東灘区)
4. 白鶴美術館(神戸市東灘区)



いにしえの人々の思いに触れる祭礼・伝統芸能

先人たちが何を願い、どう生きてきたのか。県内各地で脈々と受け継がれてきた祭礼や伝統芸能に、その一端を垣間見ることができます。



FESTIVALS & TRADITIONAL PERFORMANCES

鬼追い ～東光寺の鬼会～

東光寺の鬼会は国指定の重要無形民俗文化財(加西市)。

摂津から播磨にかけては鬼追い・追儺式という民俗芸能が伝承されています。多くは、新年を迎え一年の安寧や五穀豊穡、安全等を願う行事に祝福をもたらす鬼が登場します。

加西市の東光寺では、毎年1月8日になると五穀豊穡を祈る儀式「田遊び」に続いて「鬼会」(鬼追い)を行います。悪霊や災難を追い払うもので、たいまつや矛を手にした鬼が激しく暴れ回ります。室町末期ごろには既にあったと思われ、その後中断と再開を繰り返して今に伝わっています。



FESTIVALS & TRADITIONAL PERFORMANCES

2 風流踊 ～阿万の風流大踊小踊～

風流踊は、華やかな、人目を引くという風流の精神を体現し、衣装や持ち物に趣向を凝らして歌や笛、太鼓などに合わせて踊る日本の民俗芸能です。

阿万の風流大踊小踊は、雨乞い祈願の「願解き」の踊りで、大踊と小踊の2種類で構成されており、毎年9月15日に近い日曜、南あわじ市にある亀岡八幡神社の秋季大祭で踊られます。国内37件の風流踊を合わせ、ユネスコ無形文化遺産の登録を目指しています。



室町時代から伝わる阿万の風流大踊小踊は国指定の重要無形民俗文化財(南あわじ市)。上が大踊、左は小踊。

FESTIVALS & TRADITIONAL PERFORMANCES

3 伝統芸能 ～淡路人形浄瑠璃～

500年の歴史がある淡路人形芝居で、三味線の伴奏と義太夫の語りに合わせ、3人で人形を操ります。西宮から「エビスカキ」という人形操りが島に伝わり、神事として定着し、それが浄瑠璃と結び付いたとされます。人形を通しての喜怒哀楽の表現は大変高度な上、早替わりや道具返しなど淡路独特の演出や派手な演技も見どころで、伝統芸能であると同時に、世界に誇れる舞台芸術ともいえます。伝統を残そうと、昭和39(1964)年に「淡路人形座」が誕生し、公演を続けています。

国指定重要無形民俗文化財の淡路人形浄瑠璃(南あわじ市)。

観光の王道 ひょうごゴールデンルート

兵庫の代表的な3つの観光地をつなぐ周遊コースは、「ゴールデンルート」として、国内外から人気を集めています。それらを起点に近隣の歴史ある町並みや温泉街など、今と昔が交差する旅へと人々をいざないます。



GOLDEN ROUTE

1 神戸



慶応4(明治元・1868)年の開港後、国際物流の拠点として発展を遂げてきた神戸港。神戸ポートタワーなどを擁するメリケンパークは観光拠点にもなっており、国内外から多くの観光客が訪れます。



1. 神戸港(神戸市中央区)
2. 開港後に整備された海沿いの外国人居留地が用地不足となり、明治中期～大正初期に山手に外国人用住宅が建てられました。北野異人館街といわれ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています(神戸市中央区)。
3. 有馬温泉は、「日本書紀」の中に631年に舒明(じょめい)天皇が滞在したとの記述が残る日本三古泉の一つ。江戸時代には全国の温泉番付で西の最高位に。豊田秀吉が荒廃していた温泉を復興させたことでも知られています(神戸市北区)。

GOLDEN ROUTE 3 姫路



姫路市のシンボル、国宝・姫路城は平成5(1993)年に世界文化遺産となりました。シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれています。現在の大天守は、慶長14(1609)年に建築されたものです。



1. 姫路城(姫路市)
2. 忠臣蔵のふるさと、赤穂城下では義士ゆかりの地を巡ることができます。また、海沿いの坂越は17世紀後半からは廻船業で発展してきた町で、北前船の寄港地でもあり、中心部には古い町並みが残ります(赤穂市)。
3. 龍野の城下町は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。特産のそうめんは、江戸時代に生産が本格化し、今では西播磨の統一ブランド「損保乃糸」は全国一の生産量に。写真は繊細な麺を引き延ばし、乾燥させる風景です。また、龍野は淡口(うすくち)しょうゆ発祥の地でもあります(たつの市)。

GOLDEN ROUTE

2 城崎



川沿いの柳並木が情緒豊かな豊岡市の城崎温泉は、昔から多くの文人らが訪れ、志賀直哉の「城の崎にて」をはじめ小説の舞台にもなっている地。ゆかりの作家に関する展示を行う豊岡市立城崎文芸館があります。



1. 城崎温泉街(豊岡市)
2. 出石の町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。名物の出石そばは、江戸中期、信濃上田藩主でそば好きの仙石政明が国替えにより但馬の出石藩主として赴任した際に、地元の職人を連れてきたのが始まりです(豊岡市)。
3. 湯村温泉は日本屈指の高熱温泉で、源泉「荒湯」で温泉卵をゆでる観光客の姿はここならではの風景。深度数メートルから湧出し、量も豊富なため、旅館だけでなく各家庭にも配湯され、町名になるほど温泉が生活に根付いています(新温泉町)。



1. 姫路城(姫路市)
2. 忠臣蔵のふるさと、赤穂城下では義士ゆかりの地を巡ることができます。また、海沿いの坂越は17世紀後半からは廻船業で発展してきた町で、北前船の寄港地でもあり、中心部には古い町並みが残ります(赤穂市)。
3. 龍野の城下町は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。特産のそうめんは、江戸時代に生産が本格化し、今では西播磨の統一ブランド「損保乃糸」は全国一の生産量に。写真は繊細な麺を引き延ばし、乾燥させる風景です。また、龍野は淡口(うすくち)しょうゆ発祥の地でもあります(たつの市)。

記録と
データで見る
兵庫の姿

時代を先取りしてきた兵庫には 日本初・ナンバーワンがいっぱい!

神戸港を玄関口として、いち早く西洋文化を受け入れた兵庫。ライフスタイルや娯楽において時代の最先端をいきました。また、高度な技術力を誇り、豊かな自然に恵まれた兵庫にはさまざまな「世界一・日本一」があります。

Japan's First

兵庫の日本初(主なもの)

■ ゴルフ場

明治36(1903)年、英国人のA.H. グループが六甲山上に4ホールのコースを築きました。現在にも続く「神戸ゴルフ倶楽部」は日本で最初のゴルフ場です。



写真提供：神戸ゴルフ倶楽部

■ 宝塚大劇場

少女歌劇団の公演場として大正13(1924)年に完成。歌とダンスの舞台(レビュー)が日本で最初に上演されました。少年期を宝塚で過ごした漫画家、手塚治虫の代表作「リボンの騎士」は歌劇の影響を受けて描かれたことでも有名です。



©宝塚歌劇団

■ 甲子園球場

日本で最初の本格的な野球場。完成した大正13(1924)年が60年に一度の甲子年に当たることから命名されました。全国一を競う高校球児の聖地となっています。



■ ジャズバンド

大正12(1923)年、日本で最初のプロジャズバンド「ラフニング・スター・ジャズバンド」が結成。例年10月にはイベント「神戸ジャズストリート」が開催されています。



The Best in the World

兵庫の世界一(主なもの)

■ 明石海峡大橋

全長3911mで、塔と塔の間が1991mの世界一の吊り橋。12年間の工事を経て平成10(1998)年に開通。淡路島と神戸市を結び、「パールブリッジ」の別名があります。



■ なゆた望遠鏡

佐用町の県立大学西はりま天文台にある光学望遠鏡。口径2mを誇り、国内最大にして公開用としては世界最大。100億光年先の天体を観測できます。



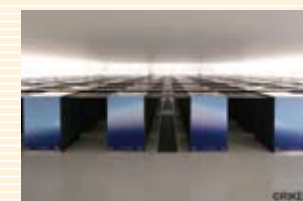
■ 地球儀時計

加西市の海拔110mの山頂にある世界一大きな地球儀時計(直径5m、総重量14t)。24時間で1回転し、「夢と平和」を発信する地球儀時計展望台として親しまれています。



■ スーパーコンピュータ「富岳」

神戸市にある理化学研究所のスーパーコンピュータ。令和2(2020)年、計算速度や使いやすさの性能で世界1位を獲得。防災や医療、産業など多くの分野での活用が期待されます。



No.1 in Japan

兵庫の日本一(主なもの)

■ 工業製品

(出荷額全国シェア)

【コーヒー】	23.2%
【成牛甲革】	52.5%
【手引のこぎり】	65.4%
【蒸気機関・タービン等の部分品】	73.1%

※経済産業省「平成30年工業統計表 品目別統計表」



■ 農林水産物

(検査件数・漁獲高全国シェア)

【酒米】	26.7%
【ズワイガニ】	27.8%
【シラス】	18.7%
【ハタハタ】	25.0%

※農林水産省「平成30年産米の農産物検査結果」「平成30年漁業・養殖業生産統計」



■ 地場産業

(生産金額全国シェア)

【ケミカルシューズ】	20.9%
【釣針】	83.0%
【マッチ】	88.5%
【手延べそうめん】	40.0%
【線香類】	39.4%
【清酒】	25.8%

※県工業振興課「全国的に主要な地位を占める地場産業(平成29年)」

